

公表日

2026 年 2 月 10 日

事業所名

こぼんはうすさくら新松戸第2教室

保護者等数(児童数) 32名

回収数 26件(割合81%)

		チェック項目					ご意見	ご意見を踏まえた対応
			はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない		
環境・ 体制 整備	1	こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	25	1			よく模様替えもあり、子供に良い刺激になっているようです。 休憩スペースもあり、ゆっくりと過ごせる場所があるので確保されている	より良い環境で支援していけるよう引き続き行ってまいります。
	2	職員の配置数は適切であると思いますか。	23	2		1	送迎時の道路混雑による遅延にも対応していただき助かっています。	対応できるようにしてまいります。
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	25	1			ホワイトボードやカードを使用し情報が可視化された過ごしやすい環境になっていると思います。	わかりやすく快適に過ごせるよう引き続き行ってまいります。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	25	1				
適切 な 支 援 の 提 供	5	こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	24	2			個別に支援メニューを作成していただきとても助かりました。 本人の特性に合わせた声掛けなどがなされていると思います。	セラピストによる専門の相談も受け付けております。 個々に合わせた伝え方を行ってまいります。
	6	事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	26					
	7	こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	26				ごこちらの意見を受け入れた上で作成していただきありがとうございます。 現状の課題に合わせた個別支援計画が作成されていると思います。	お子さまと保護者様の思いや状況を加味した上で進めてまいります。
	8	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	22	4				
	9	放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われていると思いますか。	25	1				
	10	事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	25			1	スペシャルチケットの導入なども毎回活動内容を楽しみにしています。 子供が色々な経験をさせてもらっている。	季節や行事、課題に合ったプログラムを設定してまいります。
	11	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会がありますか。	8	3	7	8	こども食堂などの地域が行っているものへの参加などはどうですか？ 夏祭りのフラダンス発表とても楽しかったようです。	調べて検討してまいります。 外部講師を通して活動する機会を増えるようにしてまいります。
保 護 者 へ の 説 明	12	事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	26					
	13	「放課後等デイサービス計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	26					
	14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	25			1	ペアトレに参加させていただきとても勉強になりました。 今年度のプログラムが充実していて参加したいと思った。 平日午前中に実施されるため就労している親は参加しづらい。 講習会がテーマ別になっており子供や家族に合わせたものを選んで受講できる点が良いと思います。	より多くの方がご参加できるよう土日設定を増やし日程や内容の工夫を行ってまいります。
	15	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達の状況について共通理解ができていますか。	24	2			リズムだけでなく送迎時の報告もしてくださるおかげで状況がよく分かります。 先生方の中で共有できていない事が何度かあった。	日々の状況を共有しながら共通理解ができるように努めてまいります。 職員間の共有方法を口頭だけでなく文書化での方法も徹底してまいります。
	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	25	1			定期的な面談で育児の助言や情報のすり合わせ修正等が行われていると思います。	個々に合った支援を引き続き行ってまいります。
17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	25	1					

明 等	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	22	1	1	2	こぼんカフェやイベントのおかげで曜日の違う保護者と関ることができてありがたいです。きょうだいへの支援とは？	さくらカフェの活動ありがとうございます。ご希望に応じて、きょうだいプログラムに参加できる日を設けていきます。
	19	子どもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	24	2				
	20	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	25	1				
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	23	1		2	インスタや写真共有のおかげで活動の楽しさが伝わってきます。発信方法は偏っていると思う。	月により発信頻度の偏りが出ております。定期的に発信できるよう努めてまいります。
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	25	1				
非 常 時 等 の 対 応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	25	1			過度なアルコール消毒は手荒れの原因になるのもう少し考えてほしい。手荒れがひどくなっている。一部聞いたこと見たことはありますが聞いたことがないものもあるような気がします。	感染委員会を設置し行っております。お子さまの状況に合わせた防止を行ってまいります。マニュアルが分かりやすいように設置いたします。
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	25			1	以前は訓練を少し怖がっていましたが最近では慣れてきており声かけなど配慮しながら子供が安心できる訓練を重ねてくださったからおかげだと感じています。	色々な想定を考えて訓練を行っております。お子さまもいざという時に行動できるように行ってまいります。
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	25	1				
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	25			1		
満 足 度	27	子どもは安心感をもって通所していますか。	26				先生は優しく友達とは仲良く安心して通所しています。	安心安全に通所していただけるよう引き続き行ってまいります。
	28	子どもは通所を楽しみにしていますか。	26				行きしぶりもなく「今日の活動は何か」と期待を持って楽しみにしています。	笑顔で楽しく通所できるよう引き続き行ってまいります。
	29	事業所の支援に満足していますか。	25	1				

公表日

2026年2月10日

事業所名

こぼんはうすくら新松戸第2教室

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1 利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	4		安全により良い環境をなるように常に模索している	安全な落ち着けるスペースの確保
	2 利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	4			
	3 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	3		1 広さを活かし落ち着ける場所を設置	片付ける場所の工夫が必要
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	3		1 定期的に消毒消臭を業者に依頼している	建物の古さからか匂いが気になる時がある
	5 必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	3		1 動線の確保により移動しやすくしている	個別部屋が児童発達支援側にある
業務改善	6 業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	4			
	7 保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	4		保護者様からご意見をいただいた際はすぐに共有し改善に取り組んでいる	
	8 職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	4		個人面談やミーティング等を実施	
	9 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	4		本部からの評価をいただき改善に取り組んでいる	
	10 職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	4		月に1回以上は設定している 個々に必要と思うものを申請し受講できる	
適切な支援の提供	11 適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	4		毎年行っている	
	12 個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	4		半期に一度の面談以外にも連絡を取り合い行っている	
	13 放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	4		ミーティング等以外でも意見を交わし合っている	
	14 放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	4			
	15 こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	3		1	ツールが不明
	16 放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	4			
	17 活動プログラムの立案をチームで行っているか。	3		1 意見しやすい環境作り	参加できていない人もいるのではと感じる
	18 活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	4		毎月全職員がプログラムを提案し選定し決定している	
	19 こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	4			
	20 支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	4		朝礼での確認とその日のリーダー職員からの声掛けをしている	
	21 支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	4		終礼と次の日の朝礼と職員間の連絡ツールを活用して行っている	

適切な支援の提供	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	4			
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	4			
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせず支援を行っているか。	3	1	過去のことも振り返りながら行っている	偏りを感じる時がある
	25	子どもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	4		プログラムやツールを用いている	
関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、その子どもの状況をよく理解した者が参画しているか。	4		児童発達支援管理責任者以外の職員も参画している	
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	4			
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	4			
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	4			
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	3	1		ご利用者様が小学生までのため機会がない。移行の機会があれば提供していく。
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	4			
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他の子どもと活動する機会があるか。	1	3	商店街の会に招待され参加した年もある。今年は地域で行われたダンスに参加した。	
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	1	3		
	34	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	4		送迎時や連絡帳などのツールを用いている	
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	4		毎年プログラム内容を変更し開催日程も工夫し行っている	
保護者への説明等	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	4			
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、子どもや保護者の意思の尊重、子どもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、子どもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	4			
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	4			
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	4			
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	4		さくらカフェやお祭り等の行事の実施	
	41	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	4		教室だけでなく会社全体で行っている	
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	4			
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	4			
	44	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	4			
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	4		招待がしていないが「ウインターマーケット」では地域の方の参加もあった	

非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	4			定期的にマニュアルの周知をする
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	4			
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	4		定期的にてんかんやエピソードについての対応確認をしている。	
	49	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	4			
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	4			
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	4			
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	4			
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	4			
	54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	4			